

抽象概念語彙を説明するための適切な導入例を考える

— 現場教師の授業準備に役立つための試案作成に向けて —

鈴木 智美

【キーワード】 抽象概念語彙、中級レベル、使用状況・場面、導入例、「良心的」

1. 研究の目的

中級レベル以上の日本語学習者が、何らかの抽象的な概念を表す日本語表現を的確に理解し、身につけ、使用するためには、その表現を導入するにあたって、どのような情報が必要になるだろうか。語の品詞や活用のしかた、文の述語となるものについてはそれと結びつく補語など、文法的・統語的な情報のほかにも、辞書的な記述によってその意味を簡潔に示すこと、例文により典型的なコロケーション(慣習的な語句と語句との結びつき)を示すことなどが挙げられるだろう。

さらに、抽象的な概念を表す表現であれば、その表現が用いられ得る的確かつ具体的な「状況・場面」が事例として示される必要もあるのではないと思われる。教科書などにおいては、何らかの文章・談話の中で当該の表現が提示されることになると考えられるため、その表現が使用される「状況・場面」の1つの例は、既にその文章・談話の中に示されていることになる。しかし、教材に記載されている一例だけではなく、概念がつかみにくいと思われるような語・表現であれば、ほかにも適切な使用場面例を補って示すことを、常日頃、教育現場において教師は行っているのではないだろうか。

本研究では、まず主として中級レベルの日本語教材等をもとに、的確な使用状況・場面を補って示す必要があるのではないかと考えられる抽象的な概念を表す表現に、実際にどのようなものが提出されているかを具体的に拾い出す。そして、そのような表現をどのように導入・提示するかという現場の教師の視点に立って、各種の辞書記述やコーパス資料などを参考にしつつ、その典型的かつ的確な使用状況の導入例について考えてみることを目的とする。言語としての日本語のみならず、広く日本社会・文化に興味・関心のある日本語学習者や、日々現場に立つ日本語教師にとって役に立つ共有の資料を整備していくことを目指したいと考えるものである。

2. 的確な事例を示す必要性

例えば、中級レベルの日本語学習者が、日本語クラスの友人たちが誕生日のお祝いをしてくれたことについて、クラスメートたちは「良心的である」という表現をした例に遭遇したことがあった。これは、単純に「良心的」という言葉を、「よい心・温かい心を持つ」ことであると誤解したために生じたものとも考えられるが、その学習者は自分なりに「良心的」の意味を解釈した上で、あえて使用したものではないかとも考えられた。当該の学習者にはクラス変更の予定があったのだが、クラスを離れる自分に対してクラスメートが変わらず温かい心で接してくれたことについて、彼らの心情や態度を表現するために、あえてこの語を選んだように受け止められた。しかし、結果的には、「良心的」という語の使い方としては的確なものとはならなかった¹。

当該のクラスでは、読解教材の中でこの「良心的」という語に触れたことがあったが²、その際には、提示されていた読解文脈においてその意味が理解できれば可とし、どのような事柄に対し、どのようにとらえる態度・行動をもって「良心的」と称するのかについて、それを的確に示すような具体的事例を、特にほかに補って提示することはしていなかった。しかしながら、様々な表現を積極的に身につけ使用していこうとする学習者にとっては、他の状況・場面例もいくつか提示することで、その概念を十分に一般化することができるよう導くことも必要ではなかったかと言える³。

¹ ちなみに「良心」は、2009年までの旧日本語能力試験対応の出題基準では、1級レベルの語彙となっている。「良心的」は当該の出題基準リストには含まれていない。

² 当該の読解教材(『日本語を楽しく読む本・中級』)の中では「日本人は商売のしかたを「良心的」に考えてしまう」という文脈で使用されていた(「5振り向き賃」)。これについて、「良心的」とは、自分の中の「よい心」にしたがって行動することだとし、ここでは、「日本人は“世の中に悪い人はいない、商売をしている人も決して悪いことをしたり考えたりしない”と考える」ということで、「例えば“100円のを10,000円などと言って売ることはないだろう、そんなひどい商売をするわけがない”というように考える」という説明を補っていた。

³ 中級レベル以上の読解などの教材において、文中における新出表現(学習者の未知語)について「理解できればよい語彙」(即ち、現段階で産出できることを求めない語彙)という分類がなされることがある。しかしながら、日本語力を高めていこうとしている特に中級レベル以上の学習者にとって、出会った語・表現はいわばすべてが学習の対象であり、「理解できればいい」とされていたとしても、自らそれを使ってみる場合は当然出てくるだろう。したがって、理解語彙として提出している場合には、当該の文脈の中で理解できればよく、それ以上の解説は必要ないということは必ずしも成り立たないと思われる。

3. 問題の所在

このように、いわゆる抽象的な概念を表す表現で、その典型的な使用場面・状況について、何らかの的確な具体的事例を補って示す必要があるのではないかとと思われる表現には、中級レベル以上の授業を行っていく際に実はしばしば出会う。それらの表現は、文法情報をおさえ、意味を解説し、他の語句との典型的な結びつき等を示すだけでは十分ではなく、その概念を一般化し理解することを助ける意味でも、実際にどのような時にそれが使えるのかについて、具体的に補って示す必要があるのではないかとと思われるものである。

例えば、「矛盾」というような抽象的概念を表す表現を考えると、辞書的な意味記述にしたがえば「つじつまが合わないこと」「両立しないこと」「話の前後が合わないこと」のように、その意味を示すことはできる。しかし、実際にどのような場合を「矛盾している」と称するのかについては、これだけでは十分につかむことは難しく⁴、例えば、その故事に従い、「どんな盾をも破ることのできる矛」をもって、「どんな矛をも防ぐことのできる盾」を突いたらどうなるかという問いを提示すれば、どのような事柄が「矛盾」した事態に当たるかについて、その一例を具体的に示すことができる。ただし、このような故事だけでは現実社会において「矛盾」という表現を使用できる具体的状況例としては必ずしも適当とは言えず、より現実的に何らかの事例を補って示すことが望ましいのではないだろうか。

しかし、例えば既存の辞書などを参照しても、そこに必ずしもその表現の的確な使用場面が提示されているわけではない。例えば、「良心的」の辞書記述を見ると、「良心に従って行動するさま。誠実なさま」(『大辞林 第三版』p.2680)のように記されており、その用例は、ごく簡潔に、例えば「-な店」のように示されている。日本語学習者はもちろん、日本語教師がこれだけを見ても、実際のところ、現実社会において、どのような態度・行動が「良心に従って」おり、「誠実」と言えるか、また、どのような店であれば「良心的」と言えるのかについての情報は十分に得ることはできない。日本語母語話者は、普通そのような情報を直観的に理解しているものと思われ、一般の国語辞典にはそれ以上の事例を提示する必要はないだろう。しかし、日本語母語話者であっても、日本語教師という立場で具

⁴ 学習者の母語に対応する語があれば、対訳によって理解することは可能であるが、どんな場合でも両言語においてその使用範囲が完全に一致するとは限らない。

体的事例を提示しようとするならば、そのような直観的な理解を学習者に伝えられる形で具現化することが求められる。

この時、典型的かつ具体的な事例を提示するための材料を探そうと、教師が例えばコーパスなどを検索したとしても、前後の言語的な文脈などについては確認することができると思われるが、その的確な使用状況・場面までが十分かつ明示的に示されるとは限らない。このような例は、それぞれの表現について見れば、その1つ1つはごく小さな表現であり、ささいな学習項目であるかもしれない。しかし、現場で教える教師の立場から考えると、説明を補いたい表現があれば、その都度、的確な使用場面・状況を考え出すなり、あるいは的確な場面のヒントを何とか探し出すなどの作業を重ねていくことが求められることになる。

ほかに、例えば「合理的」「整合性」「ナンセンス」「理屈に合う」「理屈をこねる」「うがった解釈」などの表現についてはどうだろうか。これらの表現の具体的な使用状況・場面例は、どこからどのように取り出してくればよいだろうか。例えば、「ナンセンス」の辞書記述「意味のないこと。ばかげたこと」や、用例「そんな議論は一だ」(『明鏡国語辞典 第二版』p.1311)だけでは、少なくとも学習者のためには十分ではなく、具体的にどのような「議論」が「ナンセンス」と称されるかは具体的かつ簡潔に補って示したほうが望ましいのではないと思われる⁵。また「理屈をこねる」という表現なども、具体的に、どのようなことについて、どのようなことを、どのような態度で言う行動をそのように称するのか、また「うがった解釈」とは、例えばどのようなことについて、どのように解釈する場合に使うもののかなどについて、扱われる教材においてその表現は何らかの文脈の中で提示されていたとしても、それがほかにどんな時に使われるのかという典型的かつ的確な事例を簡潔に補って示したほうが、その使い方を理解するのに役立つのではないだろうか。現状においては、日本語学習者あるいは現場の日本語教師にとって、そのような際にすぐに役に立つ共有の資料・リソースのようなものは特に準備されてはいない。

4. 研究の手順

上記のように、その表現を的確に理解し、使用するために具体的な事例の提示

⁵ 外来語も、原語と必ずしも意味が同一でない場合もあるため注意が必要であると思われる。

が求められるのではないと思われる表現を、ここでは、まず主として中級レベルを対象とする各種の日本語教材からリストアップしてみる⁶。

次に、表現ごとに各種辞書の記述を検討し、的確な使用状況・場面が提示されているかどうかを確認する。具体的事例が不足していると考えられる場合には、コーパスに見られる用例なども参照しつつ、具体的な使用状況例を考えていく。本稿では、ケーススタディとして、上記で例を示した「良心的」という表現について、具体的使用状況例を補うとしたらどのような事例を提示することができるかを考えてみる。

事例がある程度収集された時点で、日本語学習者および現場の日本語教師からフィードバックを得て、提示した例の的確性についてさらに検討を加えたいと考えている。教育現場においてすぐに参照し応用することが可能な共有リソースとして、事例集を整備することを目標としたい。

5. リストアップ結果

具体的な事例の提示が望まれると思われる表現を抽出するため、ここでは、以下の中級レベルを中心とする総合日本語教科書10種を見た⁷。

- (1) 表現を抽出するために見た中級レベルの日本語教科書
 - 『ニューアプローチ 中級日本語 [基礎編] 改訂版』(2003)
 - 『中級を学ぼう 日本語の文型と表現 56 中級前期』(2007)
 - 『中級を学ぼう 日本語の文型と表現 82 中級中期』(2009)
 - 『改訂版 トピックによる日本語総合演習 テーマ探しから発表へ 中級前期』(2009)
 - 『改訂版 トピックによる日本語総合演習 テーマ探しから発表へ 中級後期』(2009)
 - 『生きた素材で学ぶ 新・中級から上級への日本語』(2012)
 - 『テーマ別 中級から学ぶ日本語 (改訂版)』(2013)
 - 『中級日本語教科書 わたしの見つけた日本』(2013)

⁶ ここでは、本稿の執筆者が抽出作業を行った。今後、複数の日本語教師の目で見ること、および日本語学習者の協力も得て、学習者の視点からもつかみにくい表現を検討することが課題である。

⁷ 詳細な書誌情報は本稿末尾のリストに記す。

- 『中級日本語 上・下』(新装改訂版)(2015)
- 『日本で学ぶ留学生のための中級日本語教科書 出会い』(2015)

以上の教科書に目を通した結果、的確に理解し、使用するために具体的な事例の提示が必要ではないかと思われる表現として、以下の(2)に挙げるような表現が計35抽出された。なお、ここでは、あくまでそのような表現例を拾い出すために以上の教材を参考にしており、上記の教材における当該の表現の提示方法や説明等について、議論を行おうとするものではない。

- (2) 中級レベルの日本語教科書から抽出した具体的事例の提示を必要とすると思われる抽象的概念を表す表現
 (()内の数字は旧日本語能力試験(2009年まで)の語彙出題基準による級レベルを示す。)

a. 名詞・名詞句(14表現)

能率(2) 要素(2) 教訓(1) 効率(1) 取り扱い(1)
 風土(1) 理屈(1) 理論(1) 論理(1)
 感受性(級外) きれい事(級外) 分別(級外)
 うがった解釈(「うがつ」級外、「解釈」2)
 素朴な疑問(「素朴」1、「疑問」2)

b. い形容詞(1表現)

だらしない(2)

c. な形容詞(11表現)

妥当(2) 皮肉(2) 合理的(「合理」2)
 無難(1) 憂鬱(1) 情熱的(「情熱」1)
 総合的(「総合」1) 理論的(「理論」1)
 過激(級外) 短絡的(級外)
 自由奔放(「自由」3、「奔放」級外)

d. 動詞・動詞句 (9 表現)

まとめる (2)	工夫する (「工夫」2)	
惜しむ (1)	こだわる (1)	凝る (1)
成り立つ (1)	踏まえる (1)	統合する (「統合」1)
筋が通る (「筋」1、「通る」3)		

これらの表現について、的確な使用状況・場面が具体的に提示されているかどうか、検討を行った各種辞書は以下の通りである⁸。

(3) 参照した辞書類

- 『類義語使い分け辞典』(1998)
- 『使い方の分かる類語例解辞典 新装版』(2003)
- 『大辞林 第三版』(2006)
- 『広辞苑 第六版』(2008)
- 『新明解国語辞典 第七版』(2012)
- 『研究社 日本語口語表現辞典』(2013)
- 『どんなどきどう使う 日本語語彙学習辞典』(2014)

(2) で抽出した 35 表現について、これらの辞書における記述を確認すると、比較的新しく出版された特色ある辞書では、記述に工夫がなされていることが確認できる。

例えば、『どんなどきどう使う 日本語語彙学習辞典』は、日本語学習者を対象に、ある言葉を実際に使えるようになることを目指して作成された参考書であり、一般の国語辞典とは異なり、注意すべき助詞、サ変動詞(「スル動詞」)として使えるか、対応する自他動詞があるかなどの文法的情報や、当該の語をもとにした合成語(複合語、派生語)、関連語(類義語、対義語)、連語(コロケーション)、またより広い意味での関連語⁹などの情報が挙げられている。

また、本稿で問題としている観点から見れば、多義的別義の整理がわかりやす

⁸ 詳細な書誌情報は引用文献リストに記す。

⁹ 例えば「感覚」という語に対して「視覚」「聴覚」「五感」など、あるいは「均衡」という語に対して「アンバランス(な)」のように、明確に類義語や対義語と定義できる語のほかにも、広く同じ意味分野に属すると思われる関連する語が挙げられているようである。

く、例文も的確なものが挙げられていると思われる。例えば抽象的概念を表す「理屈」という語の例文として、「あの人は理屈を言うばかりで、実行が伴わない。」(p.517)という例文が提示されており、この例文からは「理屈(ばかり)を言う」ことが「実行する」とことは対称的な位置付けのものであるということが読み取れる。また、「憂鬱な」についての例文「明日上司に今日のミスを報告しなければならぬと思うと憂鬱だ。」「花粉症の私にとって、春は憂鬱な季節だ。」(p.499)なども、どのような心情について「憂鬱」と称するのかが具体的かつ簡潔に例文によってわかりやすく示されている。ただし、例えば「筋」という語について、「彼の話は、いつも筋が通っている。」(pp.239-240)というような例文が示されている場合には、具体的にどのような話が「筋が通って」おり、どのような場合には「筋が通らない」のかはつかみにくい。

『研究社 日本語口語表現辞典』も、会話やスピーチなどでよく使われる表現に焦点を当てた特色ある辞書であり、どの項目にも、臨場感のある会話例が付されている¹⁰。しかし、口語表現を対象とした辞書であるため、本稿での問題意識から言えば、例えば「合理的」「総合的」「短絡的」「妥当」「無難」「憂鬱」「効率」「能率」「要素」「筋が通る」「成り立つ」「踏まえる」「統合する」など、(2)で見た抽象的概念を表す表現の中では、採録されていないものも多い。

6. ケーススタディ：「良心的」

6.1 各種辞書の記述

ここでは、ケーススタディとして、冒頭で取り上げた「良心的」について具体的に考えてみたい。

まず、各辞書類では「良心」あるいは「良心的」について以下のような記述がなされている¹¹。

¹⁰ 「会話例」では、例えば「きれいごと」について、「A：世の中、学歴なんて関係ないか言うけど、所詮は綺麗事だよな。B：そうだよな。結局は、いい大学出てる奴が出世するしな。」(p.307)、あるいは「うがった解釈」に見られる「うがった」という表現については、「A：社長、最近みんなに優しいけど、何か考案があるんじゃないか？ B：それは穿った見方でしょ。もっと素直に受け止めれば？」(p.102)という会話例が付されている。会話にはさまざまな場面を取り入れたとしており、「まえがき」部分に「読んで楽しい辞典、つまり「読み物」としても楽しめる辞典を目指した」とある。

¹¹ 第5節(3)で挙げた辞書の中では、『類義語使い分け辞典』および『研究社 日本語口語表現辞典』には「良心」あるいは「良心的」は採録されていなかった。

- (4) 『使い方の分かる類語例解辞典 新装版』(pp.229-230):「良心」
自分の行為の善悪を判断する理性。「良心に恥じない行動」「良心的な店」
- (5) 『大辞林 第三版』(p.2680):「良心」
道徳的に正邪・善悪を判断する意識、「一の呵責を感じる」
「一的」:良心に従って行動するさま。誠実なさま。「一な店」
- (6) 『広辞苑 第六版』(p.2963):「良心」
(conscience)¹²何が善であり悪であるかを知らせ、善を命じ悪をしりぞける個人の道徳意識。「一がとがめる」
「一-的」¹³:良心に忠実であるさま。ずるがしこくなく、物事を誠実にやり通すさま。「一な商売」
- (7) 『新明解国語辞典 第七版』(p.1595):「良心」
自分の本性の中にひそむ欺瞞や打算的な考えなどを退け、自分が人として本来あるべきだと信じるころに従って行動しようとする気持。「一に恥じる／一にまつところが大きい／一を疑う／一が麻痺する／学的-」
「一的」:良心の命じるころに従って行動する様子だ。「一な店」
- (8) 『どなたときどう使う日本語彙学習辞典』(p.520):「良心」
(以下原文は総ルビ付き)
・やむを得ずうそをついたが、いつまでも良心が痛んだ／とがめた。
・彼女は良心の痛みに耐えられず、罪を告白した。
連語例:一がある／ない、一が痛む、一の痛み、一に恥じる、一がとがめる、
一の呵責
合成語例:一的な(例. この店は高級な革製品を良心的な値段で売っている。)

上記の中では、(8) (『どなたときどう使う日本語彙学習辞典』) では、具体的な使用場面が想定できるよう工夫された例文が提示されている。「うそをつく」あるいは「罪を隠している」場合に、痛みを感じたりするのが「良心」だということが例文から理解できる。「良心的」についての例文も具体的でわかりやすく、工夫がなされているが、「良心的な値段」は「手頃な値段」という意味とも解釈可能かもしれない。

¹² 「凡例」の「解説」についての「その他」に、「外国の作品名や学術語の邦語訳には、その原語を()でかこんで解説の冒頭に掲げた」とある。

¹³ 「凡例」の「見出し語」に、語構成を示すため区切りを「-」で示したとある。

その他の辞書記述では、しばしば挙げられている「良心的な店」という例について、「誠実な」態度の店であるとの言い換えはなされているが、それが具体的にどのような態度の店であるかはそれだけではつかめない。教師がそれを補うならば、何らかの具体的な事例を考え出す必要があるだろう。

6.2 書き言葉コーパスに見られる使用文脈

また、国立国語研究所「現代日本語書き言葉均衡コーパス」(BCCWJ)にて、検索ツール「少納言」を使用し、文字列検索を行うと(検索対象：全てのメディア／ジャンル、対象期間：全期間¹⁴)「良心的」は204例ヒットする。「～が良心的だ」あるいは「良心的な～」のような形で、それがどのような語句とともに用いられているかを見ると、およそ以下のような例があることがわかる。

- (9) {値段・料金・費用・会計・価格設定・対応・やり方・経営姿勢・仕事・ビジネス・アフターサービス}が良心的だ
- (10) 良心的な {店・人々・職員・作家・画家・科学者・歯科医・病院・弁護士・不動産屋・書店・メディア}

しかし、ここで、具体的にどのような状況が「良心的」と述べられているのかを読み取るためには、前後の文脈をかなり広くとらえて見る必要がある¹⁵。コーパスで検索した個々の用例をもとに、その前後の文脈を読み込みながら、的確な使用状況例を考え出していくというのは、個々の教師が現場において表現例に遭遇する度にその都度行っていくということを考えると、かなり時間と労力を要する作業だと言えるのではないだろうか。

6.3 使用状況・場面を示す導入例試案

ここでは、上記コーパスの検索結果も資料として参照しながら、どのような状況を「良心的」を使用する具体的な事例として挙げるができるか、以下の(11)(12)に示すような試案を考えてみた。

ポイントは2点ある。まず、「良心的」は、主として商売のあり方、顧客相手の

¹⁴ すべてのメディア・ジャンルを対象とすると、「全期間」とは、1971年～2008年となる。

¹⁵ 例えば検索ツール「中納言」で前後文脈の語数を500語と指定するなどである。

ビジネスのやり方について述べるものであり、人の性格や一般的な態度について述べるものではない。接辞「的」を付さない名詞「良心」は、人間の一般的な道徳的意識について言う語であるが、「良心的」はそれとは異なるという点に注意が必要である。また、通常であれば利益至上主義にしたがい、当然のごとく利益優先として行動すると思われるところで、思いのほか顧客の立場に立った、利益はひとまず置いて、顧客を重視・尊重するような対応をとっていると思われる事例に遭遇した際、「通常想定されるやり方とは異なって」とのニュアンスを込めて述べられるものと思われる。

(11)「良心的」の具体的な使用状況・場面例(その1)：

町の露天商で購入したアクセサリー(の金具)がすぐに壊れた。領収書(店がお金を受け取ったしるしに、日にちや金額を書いた紙)は、もちろんもらっていない。しかし、翌日持って行ったら新しいのに交換してくれた。意外と良心的な商売をしているんだと思った。

(12)「良心的」の具体的な使用状況・場面例(その2)：

顔かたちを美しくしたいと、美容整形手術を受ける女性が日本でも増えてきているそうだ。手術代は決して安くなく、美容整形外科医というのは、いい商売だ。お金をもうけたい医師は、1つ手術が終わっても、すぐその後に、ほかの手術もやったほうがもっときれいになりますよと次の手術をお客に勧める。そんな中で、A医師は、手術をしたいという女性が相談に来た時、その手術1回では、その人の希望する(理想の)顔にはなれないだろうと思う場合、もっと高いほかの手術もやるようにと徐々に勧めるのではなく、まず、相談者には、手術をするのかどうかもう一度よく考えるように話しているという。お金もうけばかり考える医師が多い中、これは医師としてかなり良心的な態度ではないだろうか。

(11)では、いわゆる「露天商」では普通、製品の保証はないこと、(12)では「美容整形手術」に対する考え方やそれを取り巻く現代社会の状況などについて、前提として理解を共有しておく必要がある。具体的な状況・場面を示す際には、社会における慣習・文化や、時代背景の移り変わりなどにも考慮する必要があるため、このような事例を考える際には注意が必要であり、また継続的に見直しを行っ

ていく必要もあるだろう。

数名の日本語教育関係者からは、(12)の例よりも(11)の例のほうがわかりやすいというコメントをもらった。状況・場面は、なるべく簡潔に提示することも条件となるかもしれない。

7. まとめ

本稿では、日本語学習者が抽象的概念を表す語彙を理解し、身につけ、的確に使用していくために、その概念を一般化し理解することを助けるためにも、具体的な使用状況・場面をいかに的確に導入するかを考えることを目的に考察を行った。具体的に中級レベルの日本語教科書を参考にそのような表現例を挙げ、辞書における記述からは具体的な使用場面・状況が確認しにくいことから、ケーススタディとして「良心的」という語についての導入例を考えた。今後、検証を行いつつ事例を積み重ねていき、現場の日本語教育に役立つ共有のリソースを整備していくことにつなげたい。

引用文献

- 安藤栄里子・恵谷容子・阿部比呂子・飯嶋美知子(2014)『どんなときどう使う 日本語語彙学習辞典』アルク
- 北原保雄(編)(2010)『明鏡国語辞典 第二版』大修館書店
- 小学館辞典編集部(編)(2003)『使い方の分かる類語例解辞典 新装版』小学館
- 新村出(編)(2008)『広辞苑 第六版』岩波書店
- 田忠魁・泉原省二・金相順(1998)『類義語使い分け辞典』研究社
- 松村明(編)(2006)『大辞林 第三版』三省堂
- 山田忠雄・柴田武他(編)(2012)『新明解国語辞典 第七版』三省堂
- 山根智恵監修(2013)『研究社 日本語口語表現辞典』研究社

日本語教科書類

- 安藤節子・佐々木薫・赤木浩文・田口典子・鈴木孝恵(2009)『改訂版 トピックによる日本語総合演習 テーマ探しから発表へ 中級後期』スリーエーネットワーク
- 小柳昇(2003)『ニューアプローチ 中級日本語[基礎編]改訂版』語文研究社
- 鎌田修・ボイクマン総子・富山佳子・山本真知子(2012)『生きた素材で学ぶ 新・中級から上級への日本語』ジャパントイムズ

- 近藤安月子・丸山千歌・有吉英心子 (2013) 『中級日本語教科書 わたしの見つけた日本』
東京大学出版会
- 佐々木薫・赤木浩文・安藤節子・草野宗子・田口典子 (2009) 『改訂版 トピックによる
日本語総合演習 テーマ探しから発表へ 中級前期』スリーエーネットワーク
- 産能短期大学 (編著) (2012) 『日本語を学ぶ人たちのための日本語を楽しく読む本・中
級』産業能率大学出版部 (初版 1991 年)
- 東京外国語大学留学生日本語教育センター (2015) 『中級日本語 上・下』 (新装改訂版)
凡人社
- 東京外国語大学留学生日本語教育センター (2015) 『日本で学ぶ留学生のための中級日
本語教科書 出会い』ひつじ書房
- 平井悦子・三輪さち子 (2007) 『中級を学ぼう 日本語の文型と表現 56 中級前期』スリー
エーネットワーク
- 平井悦子・三輪さち子 (2009) 『中級を学ぼう 日本語の文型と表現 82 中級中期』スリー
エーネットワーク
- 松田浩志他 (2013) 『テーマ別 中級から学ぶ日本語 (改訂版)』研究社

コーパス

『現代日本語書き言葉均衡コーパス』国立国語研究所

http://pj.ninjal.ac.jp/corpus_center/bccwj/

To Introduce Appropriately Words with Abstract Concepts; Aiming to Develop Suggested Ideas to Support Japanese Language Teachers

SUZUKI Tomomi

Key Words: Words with abstract concepts, Intermediate level, Usage/Situation,
Introduction examples, “Ryoushin-teki”

The purpose of this paper is to examine the best method to introduce words with abstract concepts to Japanese language learners by providing the typical usage situation and context. Those examples help learners to construct the schematic concept of the expression adequately and use the words in appropriate context.

Some words and expressions with abstract concepts in intermediate level textbooks require additional usage explanations including appropriate situation and context in which the expression should be used. Ordinary dictionaries do not often provide the situation and context for such expressions. I have selected the word "Ryoushin-teki" as a case study. Comparing several dictionaries and actual usage examples in corpus, I have designed an introduction to show a typical and appropriate usage of the word.

By examining more examples, I would like to gather resources accessible by Japanese language teachers, and learners who are interested in Japanese society and culture as well as language.